

鈴木大介ギター・リサイタル

～ギターと映画と名曲と～

作曲家武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている鈴木大介が、冬の鎌倉でのリサイタルのために選び抜いた特別なプログラムでお贈りいたします。

日 時	2010. 2. 7(日) 開場13:30 開演14:00
会 場	鎌倉生涯学習センターホール(鎌倉市小町1-10-5)
入 場 料	全席自由 2,500円 ペア券(2名分) 4,000円
発 売 日	12/15(火) 発売
チケット取扱い	<p><電話予約> (財)鎌倉市芸術文化振興財団 TEL 0467(23)3755(火曜～土曜 8:30～17:00)</p> <p><インターネット販売> イープラス http://eplus.jp/(大人券=ペア券となりますのでご注意ください)</p> <p><窓口のみ> 【鎌倉】たらば書房(鎌倉駅西口前)、松林堂(鎌倉駅東口前)、 ビストロガレ(鎌倉生涯学習センター内)、 鏑木清方記念美術館、鎌倉文学館 【大船】島森書店大船店(大船駅東口前)</p>
主催・問合せ	(財)鎌倉市芸術文化振興財団 TEL0467(23)3755 *1/28～1/4は休業いたします。
出演者 プロフィール	<p>鈴木 大介 (ギター) Daisuke Suzuki, Guitar</p> <p>作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。</p> <p>マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。</p> <p>現代音楽の初演や、アンサンブルとコンチェルトの膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術は、多方面からの評価を確立し、難度の高いプロジェクトにおけるファースト・コール・ギタリストの位置を維持している。</p> <p>また、斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、「カタロニア讃歌～鳥の歌／禁じられた遊び～」は2005年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。</p> <p>2007年、2008年にリリースした「キネマ楽園」、「キネマ楽園II/夜の太陽」は、ギター・ソロによる映画音楽のカバーで大ヒットとなった。2009年には、続いて「キネマ楽園～love stories」をリリース。最新盤は、「ギターは耐え、そして希望し続ける」(2009年12月発売)。</p> <p>第10回出光音楽賞、平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。洗足学園音楽大学客員教授。横浜生まれ。</p> <p>鈴木大介のブログ http://daisukesuzuki.at.webry.info/</p> <p>(2009年12月現在)</p>

鈴木大介ギター・リサイタル

ギターと映画と名曲と

バッハ：組曲 二長調 BWV1007

池辺晋一郎：ギターは耐え、そして希望しつづける

メルツ：モーツァルトの歌劇『ドン・ジョヴァンニ』の主題によるファンタジー op.28

レノン&マッカートニー（武満徹編）：ミッシェル／イエスタデイ

武満 徹：めぐりあい／ワルツ（映画「他人の顔」から）

ショパン（フランシスコ・タレガ編）：ノクターン op.9-2

ヘンリー・マンシーニ：いつもふたりで／ひまわり／シャレード

フランシス・レイ：男と女

ルイス・ボンファ：

カーニヴァルの朝（映画「黒いオルフェ」から）

武満 徹：伊豆の踊り子

ジョン・ウィリアムズ：

会長さんのワルツ（映画「SAYURI」から）

スペイン伝承曲：禁じられた遊び

スタンリー・マイヤーズ：

カヴァティーナ（映画「ディア・ハンター」から）

レナード・バーンスタイン（ホルヘ・モレル編）：

「ウエスト・サイド物語」から3つの小品

（アイ・フィール・プリティ／マリア／アメリカ）

2010 2 | 7 [日] 14:00 開演
13:30 開場

鎌倉生涯学習センター
ホール

鎌倉生涯学習センター（鎌倉市小町1-10-5）へは、
鎌倉駅東口から徒歩3分。TEL.0467-25-2030

主催：鎌倉市芸術文化振興財団

全席自由 2,500円（税込）

ペア券（前売のみ） 4,000円（税込）

◆チケットのお取り扱い・お問い合わせ：

（財）鎌倉市芸術文化振興財団

0467-23-3755（火曜～土曜 8:30～17:00）

※12/28～1/4は休業させていただきます。

◆チケットのお取り扱い：イープラス <http://eplus.jp/>

◆チケットの店頭販売：

【鎌倉】ビストロガレ（鎌倉生涯学習センター内）

松林堂（鎌倉駅東口前）、たらば書房（鎌倉駅西口前）

鎌倉文学館、鍋木清方記念美術館

【大船】島森書店大船店（大船駅東口前）

※演奏曲目等は都合により変更になる場合がございます。 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。



ギターは夢みる――。

新時代の解釈によるバッハの名曲、モーツァルトのオペラによるファンタジー、そして現代日本の傑作、池辺晋一郎の「ギターは耐え、そして希望しつづける」まで。鈴木大介がいまもっとも弾きたい作品を集めた充実の選曲で、その真価を問います。リサイタル後半は、「禁じられた遊び」、「カヴァティーナ」をはじめ広く愛される映画音楽に、武満徹の編曲によるビートルズ・ナンバー、生誕200年のショパンのノクターンを鏤めて、珠玉の名品集をギターの親密な響きでお贈りします。冬の鎌倉でのリサイタルのために、鈴木大介が選びぬいた特別なプログラムです。

僕は学生の頃から、鎌倉の街を歩くのが大好きでした。武満さんが、ギターのための「フォリオス」の中で描いたような、明け方の澄んだ空気の気配、梵鐘の響き、そして清らかな静けさを求めて、散策して歩くこともしばしばありました。そして、芸術や文化に対する新鮮な眼差しも、時おり鎌倉の皆さんに演奏を聴いていただく体験から感じてきました。

今回のコンサートでは、前半にバッハと池辺晋一郎先生の作品、そしてロマン派のヴィルトゥオーゾ、メルツの作品を演奏します。バッハの組曲では、近年の最新の研究の成果をもとに、ギターによって表現しうるアーティキュレーションの多様性やバッハのハーモニーの美しさをお楽しみいただけるでしょう。

池辺先生の「ギターは耐え、そして希望しつづける」は、2007年に僕が初演させていただいた作品で、はやくも、武満さん以降最も重要な邦人による現代のギター作品として定着しつつあります。アウシュビッツの収容所を訪れた体験から生まれた、平和への祈り、希望し、信じ続ける強さについての、切実な作品です。

19世紀ウィーンでは、ギターはとても代表的な家庭の楽器でありました。そこで流行のオペラの旋律を、ギターに編曲し家庭で楽しむ、という習慣が生まれたのですが、ジュリアーニ、メルツといった一部の名人たちは、それを自身のコンサートにおける華やかなレパートリーにまで高めたのです。

19世紀のマエストロたちにヒントを得て、というわけではありませんが、僕は近年、現代の聴衆の皆さんに親しまれている映画の中のメロディーを、演奏会用のギターのレパートリーとして編曲し、演奏するようになりました。コンサートの後半では、もともとギターで演奏されている映画のメロディーや、世界中の作曲家、ギタリストたちの名編曲も交え、ビートルズや名画からのおなじみのメロディーの中に、ギターの音色や歌の素晴らしさを聴いていただけたら嬉しく思います。



鈴木大介(ギター) Daisuke Suzuki / Guitar

作曲家の武満徹から「今までに聴いたことがないようなギタリスト」と評されて以後、新しい世代の音楽家として常に注目され続けている。

マリア・カナルス国際コンクール第3位、アレクサンドリア市国際ギター・コンクール優勝など数々のコンクールで受賞。

2004年6月～2006年2月まで8回にわたり、20世紀に生まれたギター音楽を毎回異なる視点でアプローチする演奏会「ギター・エラボレーション」を白寿ホールで開催。2005年には、ベルリン・パリ・東京にて、武満徹の舞台「マイ・ウェイ・オブ・ライフ」でケント・ナガノ指揮ベルリン・ドイツ交響楽団と共演。同年タイ国際ギター・フェスティバルにも出演し、2006年、同フェスティバルに再び招かれた。2006年7月、コペンハーゲン・ジャズ・フェスティバルにキャスパー・トランバーク・タケミツ・プロジェクトのギタリストとして出演。2008年2月には、ワシントンのケネディセンターにて開催されたジャパン・フェスティバルでの「A Tribute to Toru Takemitsu」に渡辺香津美、coba、八尋トモヒロと共に出演、大好評を博した。

内外の演奏家からの信頼も厚く、これまでに、クロード・ボリング、マーティン・テイラー、渡辺香津美、荘村清志、ブランドン・ロス、古部賢一、須川展也、天羽明恵らと共演を重ねている。また、小澤征爾が中心となって行われるサイトウ・キネン・フェスティバル松本には、ゲスト・プレイヤーおよびオーケストラ・メンバーとして、1997年以降頻りに招かれている。現代音楽の初演や、アンサンブルとコンチェルトの膨大なレパートリーでの、明晰な解釈力と洗練された技術は、多方面からの評価を確立し、難度の高いプロジェクトにおけるファースト・コール・ギタリストの位置を維持している。

また、斬新なレパートリーと新鮮な解釈によるアルバム制作はいずれも高い評価を受け、「カタロニア讃歌～鳥の歌／禁じられた遊び～」は2005年度芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞。2006年には武満徹の没後10年を記念し、映画音楽集「夢の引用」をリリース。2007年、2008年にリリースした「キネマ楽園」、「キネマ楽園Ⅱ／夜の太陽」は、ギター・ソロによる映画



音楽のカバーで大ヒットとなった。2009年には、続いて「キネマ楽園～love stories」をリリース。最新盤は、「ギターは耐え、そして希望しつづける」(2009年12月発売)。

これまでにNHK-FM「クラシック・リクエスト」(1999年～2001年)、「気ままにクラシック」(2002年～2008年3月)のパーソナリティーも務めた。第10回出光音楽賞受賞。2005年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。洗足学園音楽大学客員教授。

横浜生まれ。ギターを市村員章、福田進一、尾尻雅弘の各氏に、作曲を川上哲夫、中島良史の両氏に師事。ほかに、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院においてエリオット・フィスク、ホアキン・クレルチの両氏に師事。

鈴木大介のブログ <http://daisukesuzuki.at.webry.info/>